

## 【テーマ】

日常の介護の中で利用者様が発信している些細な事から  
病気の発見につなげていこう

## 【タイトル】

症状から何が考えられるか？介護関係者に伝えたい事

## 【講師】

たかさわ糖尿病内科クリニック 院長 高澤 宏文 先生

# 【とある施設での、とある介護シーン】

## 【利用者】

70代後半

既往歴：脳梗塞 糖尿病  
軽度認知症

ADL：ほぼ自立

入浴，爪切りなどの見守り・  
一部介助が必要

## ●とある日

浮腫があるのと，呼吸がちょっと荒い様子が伺えました。

でも……

この利用者さん本人が大丈夫と言い切っているし，  
今すぐ病院に！ではなさそう……

他の用事で呼ばれたり忙しい中，どのようにする  
といいのか？

**介護現場で通常行っているADLの確認に，少し意識づけ出来るエッセンスを加えてみました！**

# 浮腫に気づいた時のチェックポイント

- 足の甲，ふくらはぎの張り具合，上半身（顔）など
- **必ず左右を確認する。（片側が浮腫む場合もある）**
- むくみに加えて呼吸のチェック（**普段**との違いを確認）  
\* 会話時，動いている時はどうかをみていく

# 浮腫について

- 高齢者はじっとしていることが多い。
- 筋肉量の低下が足のむくみにつながる。
- 足十両手十顔，呼吸が荒い十数値が悪い  
→ 治療が必要な浮腫
- 2週間で3kg以上の体重増加の場合，病的な浮腫と考える。
- 浮腫以外の状態（食欲減退など）の症状も聞く。

# 認知機能について

- 認知症を疑う時は、会話が成立しないとき
- 内臓機能や全身状態が低下している場合は、**認知機能も低下する事がある**
- 日々の状態を知ることが大事
- この患者さんは、こういう事が得意ということを知ること  
とも大事
  - \*いつも出来ていることが出来ない  
→脳の機能低下が考えられる

# パルスオキシメーターについて

- 一般的にSPO2正常な時→**95%以上**  
呼吸機能が悪い時など病的な状態→**90%以下**  
\* 1分間、息を止めると90%以下になる  
→とても苦しい状態が体で起こっているという事！
- ゼーゼーしているのに苦しくないと言う人がいたり、慢性的な呼吸器疾患などがある方で、SPO2が低くても苦しさを感じにくい人もいます。

「状態がおかしい時に測る」 「日々、SPO2を計る」  
ことに意味がある！

## 豆知識

- SPO2測定時
  - \* マニキュアをつけていると値が低く出る
  - 貧血の場合は、みかけ上値が上がる事がある
- 爪の色を見ることも大事
- 血圧や呼吸なども見る事が大事

SPO2の数値は、ひとつの情報

SPO2の数値だけをみるのではなく、全身状態をよく観察しておくことが大事！

# 「なにか心配だな・・・と感じたら」

- 記録や温度板を見る事（自分も記録する事！）
  - \* 浮腫に気付いた場合，日々の水分量や排せつ量をチェックすることが大事
- 引継ぎの時に必ず次の人に繋げるということが大事
- 日中夜間を通して利用者の状態をみるということが大事

自分が関わって少しでも  
『**おかしい**』と感じたら情報を  
1人で抱えないで  
**次に繋げる事が大事！**

Q&A

Q

『骨折した人は、認知症が進むと聞いたんですが、そうなんですか？』

A

転倒・骨折する人→全体の筋力低下（特に、大腿四頭筋）

足があがらない すり足

転倒時の傷で老化が分かる→顔に傷ができる＝反射的に手がでない

筋力低下すると足があがらなくなる

転倒して足が出ないで顔から転ぶということは、**フレイルが進んでいる**

脳機能の低下→段差がみえない

### **（まとめ）**

そもそも転ぶとは、老化がすすんでいる可能性がある（認知機能も含めて）そのような時に、環境が変わる（入院する等）と認知機能の低下、認知症がすすむ事もある

Q

『空間無視って聞いた事があるんですが，どんな事ですか？』

A

視覚の問題ではなく，脳の機能障害  
主に，脳梗塞，脳出血などで生じる症状  
自分では見えているつもり（脳が見えていると判断している）  
右に病変があったら，左側の空間が認識できない

**（まとめ）**

本人は見えている認識なので，関わりとしてはさりげなく  
フォローするのが大事

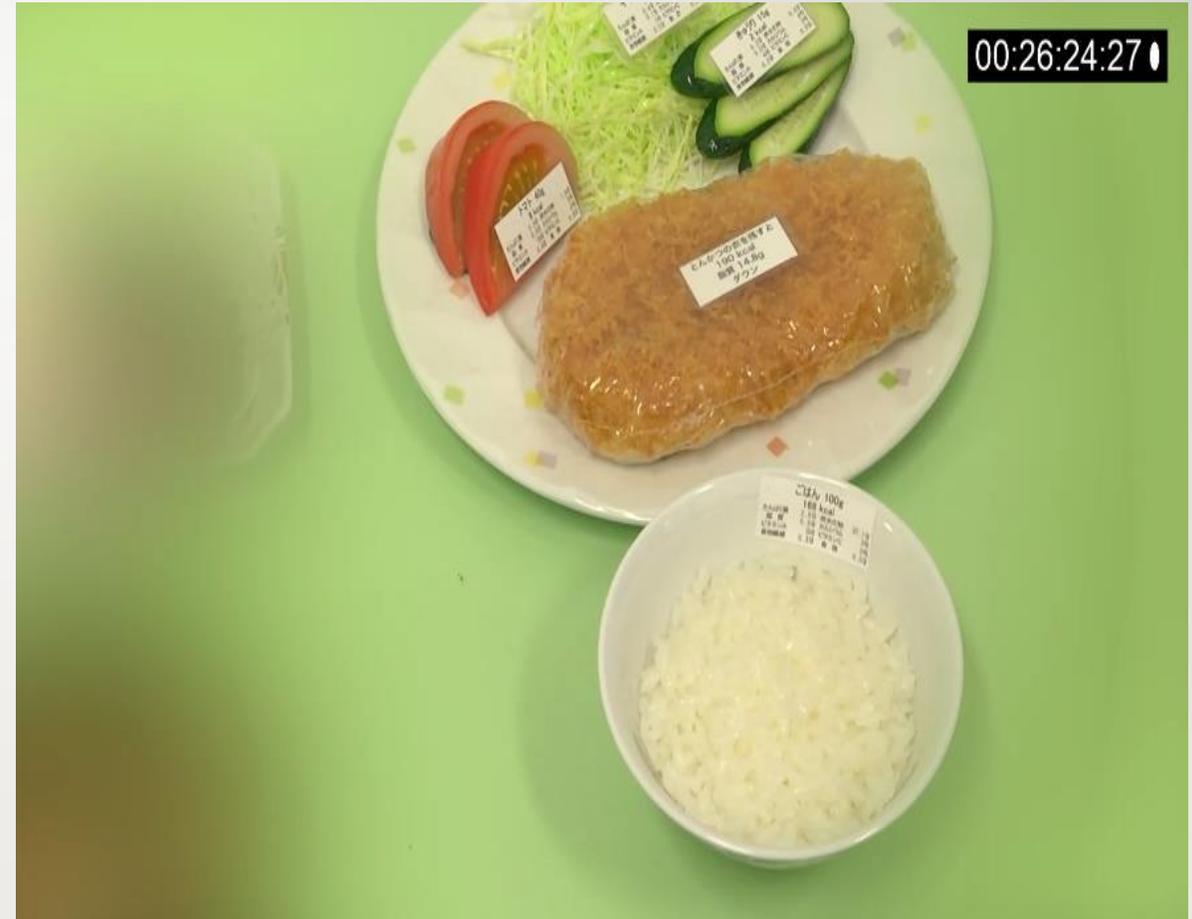
## 【正常な人が見えている映像】



**左半側空間無視の利用者**は、  
左側にあるトンカツやご飯、  
お薬が見えない。

**そんな時、介護者は  
どうしたら良いのか？**

- ・ 介護者が、左側にある物を右側へ移動することで、利用者は見えるようになる。



Q

『なぜ、夜におしっこに行く回数が多くなるんですか？  
膀胱炎などの病気という事もあるのでしょうか？』

A

膀胱が固くなる・眠りが浅くなる・過敏性膀胱  
男性だと前立腺が影響  
基本的には、高齢になると慢性的に尿内に雑菌がある  
体力低下すると、雑菌が血液内にはいってしまうことがある

(まとめ)

熱がでる・体がだるい・食欲低下などがある時は注意！  
この人の尿回数はどうなのかを知る  
(いつもは1日5回→10回になったら病気を疑う)

Q

『今まで好き嫌いがなかったのに，美味しくないとって食べない事が多くなってきました。どうしたらいいのでしょうか？』

A

あまい・からいの感じ方の低下→おいしく感じない→食事しない  
のみこみが弱くなる→食べたくないという訴えにつながる事がある  
味覚低下の時，口腔内乾燥している事がある  
利尿剤や糖尿病薬などで口腔内乾燥する事もある

(まとめ)

日々の口腔ケアが大事！

Q

『なぜ年をとると、寒くない日でも寒いと言ってストーブつけたり厚着をしたりするんですか？』

A

脳の機能低下で、感覚が鈍くなる  
筋力低下で、血の温度がさがりやすくなり寒く感じやすくなる

(まとめ)

本人の感覚は暑くないので、関わりとしては脱水にならないよう関わるなどのケアが大事！

# 全体のまとめ

- 高齢になると訴えも変わる
- 介護者によっても訴えることが変わることがある
- 一人一人の情報共有が大事
- 利用者さんとの関わりで日々の変化に気が付くことが大事

**「あれ？」を一人で抱えないで**

**皆さんでつないで**

**そして医療と連携を！**